



# 学校だより 穂波平

令和4年度 第4号  
富士宮市立富士宮第四中学校  
静岡県富士宮市穂波町13-1  
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓  
考える

## 学校教育目標 「主体的に行動する生徒」

●伝え合い学び合う授業 ●認め合い高め合う仲間 ●磨き合い鍛え合う心と体



あっという間に7月になりました。7月の授業日は15日。まもなく1学期が終了します。コロナ禍で始まった令和4年度ですが、3年生の修学旅行、2年生の自然教室、1年生の穂波平セミナーも例年同様の形でおこなうことができました。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、大変感謝しております。少しずつ感染者数も減り、世の中が日常を取り戻しつつあります。しかし、学校現場では、まだまだ気を抜かず、感染拡大防止に努めていかなければなりません。今後も保護者、地域の皆様には学校行事等でご不便をおかけしますが、温かく見守っていただきますようお願いいたします。

校長 菊地 範士

## 「見逃し三振より空振り三振

～やってみた結果の後悔の方が価値がある～ 7月全校集会から

「見逃し三振より空振り三振」アメリカの大リーグで言われている言葉だそうです。大リーグでは、見逃しの三振は大変評価が低く見られるそうです。野球を見ていると、三振でアウトになるケースがあります。三振で悔しがる様子を見ていると、あるパターンに気づきます。悔しがるのは、バットを振って三振になるときではありません。バットを思いきり振って、球が当たらなかったときは「仕方ない。やられた」という表情をします。残念そうではありますが「やるだけのことはやった」という納得のいく様子が見られます。本当に悔しがっているのは、見逃し三振のときです。見逃して三振になった後、バッターは独特の表情をします。首をかしげて、納得のいかない、悔しそうな表情をします。「こんなことなら、バットを思いきり振っておくべきだった」という表情です。バットを何とか振れば、球に当たる可能性がある。ヒットになるかどうかは次の段階なのです。相手がエラーするかもしれない。当たり損ないがヒットになるかもしれない。振ることによって、ヒットを生む可能性が出てくる。振らない消極性より、たとえ三振になっても、空振りでもいいからバットを振っての三振の方が価値があるのです。

人間、誰でも「失敗するかもしれない」と消極的な思いや迷い・不安が出てくると、行動も消極的になってしまいます。迷いや不安は誰にでもあること。迷いや不安を振り切って、まず「やってみること、バットを振ってみること」が大事です。振らないで後悔する失敗より振ってみて、やってみての後悔の方がより価値があります。

みなさんの日常生活や学校生活のなかでも同じことがいえると思います。「ダメかな」とか「できないかな」とかを考えて何もしないで行動を起こさないことがありますか。マイナスイメージを持って行動する人には「成功」という言葉はありません。成功は「思いこむ能力」と「思い続ける能力」が大事。成功した自分の姿をしっかりとイメージすることが大事です。プラスイメージを持つとプラス思考になり、プラスの行動ができます。「必ずこうなる」と思うと、そうなります。みなさんの学校生活やこれからの生き方としてプラス思考で物事を考えるようにしてください。

今年の中体連大会も始まっています。みなさんの積極的なプレーを大いに期待しています。



## 部活動に込めた3年間の思い

<p><b>野球部</b> 走姿顕心のスローガンの下、今まで努力してきたことを自信に変え、最後まで諦めずに粘り強く戦います！ 【植松 恒太】</p>	<p><b>ソフトボール部</b> 中体連優勝、県大会出場を目標とし、悔いが残らないよう、一球一球に心を込めて精一杯プレーしたいです。 【池田 みい】</p>	<p><b>ソフトテニス部(男)</b> チーム一丸となって、今までの目標である地区優勝、県大会ベスト4を目指すために全力でボールを打ちます。 【木内 蒼】</p>
<p><b>ソフトテニス部(女)</b> 中体連に向けて日々努力をかさねてきました。去年先輩達が果たした結果を目指し、今年も精一杯頑張ります。 【大滝 瑠菜】</p>	<p><b>バレーボール部(男)</b> 周りで支えてくれている多くの人への感謝をし、応援してもらえる人を目指します。中体連では必ず勝ち進みます。 【盛田 響生】</p>	<p><b>バレーボール部(女)</b> 私達は中体連優勝という目標で練習してきました。家族、先生、後輩に感謝をして精一杯プレーをしたいです。 【竹田 湊緒】</p>
<p><b>バスケットボール部 (男)</b> 他のチームよりも声を出しディフェンスを頑張りました。部活内で切磋琢磨し成長できたことが誇りです。 【長谷川 敦史】</p>	<p><b>バスケットボール部(女)</b> 大切なことは“楽しむ事”。そうやってバスケットと向かい合ってきました。最大限バスケットを楽しみ、優勝に繋げてきます!! 【佐野 彩星】</p>	<p><b>卓球部(男)</b> ねばり強いプレーを意識しながら練習に励み、選手としての礼儀や挨拶を大切にしていきたいと思います。 【勝又 一真】</p>
<p><b>卓球部(女)</b> 卓球を通して得たかけがえのない仲間と共に、最後の一瞬まで集中し感謝の気持ちをもって全力でプレーします。 【高橋 莉子】</p>	<p><b>剣道部</b> 個人競技の剣道でも、部員同士で支え合うことができるこの部活動は、僕にとって幸せでした。 【諏訪部悠輝】</p>	<p><b>サッカー部</b> 優勝と口で言うのは簡単。実現するために仲間と最高の毎日を送ってきた。全身全霊で輝くサッカーをします。 【半田 寛人】</p>
<p><b>陸上競技部</b> 今までの思いと感謝の気持ちを込めて頑張ります。記録とともに記憶に残る1日となるよう精一杯投げ跳び走ります。 【小野田理央】</p>	<p><b>バドミントン部(男)</b> 夏の日も冬の日も必死に練習に励んだ3年間、僕たちはこの3年間の努力をシャトルに込め、全力で闘ってきます! 【望月 春希】</p>	<p><b>バドミントン部(女)</b> ラケットに3年間の努力の成果と思い、そして感謝を込め、コートと向き合い全身全力で勝ちに行きます。 【佐野 愛芽】</p>
<p><b>吹奏楽部</b> 一人一人の音の完成度を指すために、お互いに聴き合って改善し、気持ちを一つに素晴らしい演奏をしたいです。 【清 ひさの】</p>	<p><b>美術部</b> 私達は明るく元気に活動してきました。行事やコンクールに向けて、最高の作品を作れるよう、頑張ります。 【稲葉 菜都】</p>	<p><b>パソコン部</b> 私達はパソコンの技術向上のために仲間と共に学び、支え合ってきました。これからの生活に活かしたいです。 【望月 天翔】</p>
<p><b>囲碁将棋部</b> ゲームとしての楽しさはもちろん、相手に礼儀と敬意をもち接する大切さ、先を見通す重要性を学びました。 【渡部 佑理】</p>	<p><b>家庭科部</b> いつも温かい雰囲気で作ることができました。出来上がった作品が増えていき嬉しかったです。コンテスト頑張ります。 【只井 里奈】</p>	<p><b>総合部</b> 3年間、失敗してもあきらめずに福ろう製品を作り続けました。仕事とはどういうものか、学ぶことができました。 【佐野 海斗】</p>
<p><b>水泳強化部</b> 0.1秒でも速く泳げるよう努力してきたこの2年間。今まで支えてきてくれた人を感動させられる大会にします。 【芦澤 てな】</p>		

